

【参考文献】

- Elsa M. Orellano-Colón, Yolanda González-Laboy, Amarelis De Jesús-Rosario. (2017). Creation of the Quebrada Arriba Community and Academic Partnership: An Effective Coalition for Addressing Health Disparities in Older Puerto Ricans. *P R Health Sci J*, 36, 107–114.
- John G. Oetzel, Nina Wallerstein, Bonnie Duran, Shannon Sanchez-Youngman, Tung Nguyen, Kent Woo, and Margarita Alegria. (2018). Impact of Participatory Health Research: A Test of the Community-Based Participatory Research Conceptual Model. *BioMed Research International*, 1–12.
- Kathryn L. Braun, Tung T. Nguyen, Sora Park Tanjasiri, Janis Campbell, Sue P. Heiney, Heather M. Brandt, and James R. Hebert. (2012). Operationalization of Community-Based Participatory Research Principles: Assessment of the National Cancer Institute's Community Network Programs. *American Journal of Public Health*, 102(6), 1195–1203.
- Leopoldo J Cabassa, Benjamin Druss, Yuanjia Wang, Roberto Lewis-Fernández. (2011). Collaborative planning approach to inform the implementation of a healthcare manager intervention for hispanics with serious mental illness: a study protocol. *Implementation Science*, 6(80), 1–12. doi:10.1186/1748-5908-6-80.
- Lisa Cacari-Stone, Nina Wallerstein, Analilia P. Garcia, Meredith Minkler. (2014). The Promise of Community-Based Participatory Research for Health Equity: A Conceptual Model for Bridging Evidence With Policy. *American Journal of Public Health*, 104(9), 1615–1623.
- Loulou Kobeissi, Rima Nakkash, Zeina Ghantous, Maya Abou Saad, Nasser Yassin (2011). Evaluating a Community Based Participatory Approach to Research with Disadvantaged Women in the Southern Suburbs of Beirut. *J Community Health*, 36, 741–747. DOI 10.1007/s10900-011-9368-4.
- Mark Wolfson, Kimberly G. Wagoner, Scott D. Rhodes, Kathleen L. Egan, Michael Sparks, Dylan Ellerbee, and Evelyn Yang. (2017). Coproduction of Research Questions and Research Evidence in Public Health: The Study to Prevent Teen

- Drinking Parties. BioMed Research International, 1-10.
- Nancy VanDevanter, Simona Kwon, Shao-Chee Sim, Kay Chun, Chau Trinh-Shevrin. (2011). Evaluation of Community-Academic Partnership Functioning: Center for the Elimination of Hepatitis B Health Disparities. Prog Community Health Partnersh, 5(3), 223-233. doi:10.1353/cpr.2011.0032.
- Sandelowski, M., & Barroso, J. (2007). Handbook for synthesizing qualitative research. New York: KY: Springer.
- Stacy M. Rasmu. (2014). Indigenizing CBPR: Evaluation of a Community-Based and Participatory Research Process Implementation of the Elluam Tungiinun (Towards Wellness) Program in Alaska. Am J Community Psychol, 54, 170-179. DOI 10.1007/s10464-014-9653-3.
- The World Health Report. (2008). -Primary Health Care (Now More than Ever). who.int/whr/2008/en/
- World Health Organization. (1994). WHOQOL. <https://who.int/tools/whoqol>
- Zubaida Faridi, Jo Anne Grunbaum, Barbara Sajor Gray, Adele Franks, Eduardo Simoes. (2007). Community-based Participatory Research: Necessary Next Steps. PREVENTING CHRONIC DISEASE PUBLIC HEALTH RESEARCH, PRACTICE, AND POLICY, 4(3), 1-5.
- 稲垣康次. (2014). 行政キーパーソンとして考える「認知症の人が普通に暮らせる地域」とは. 日本社会精神医学会誌, 23, 209-213.
- 今西浩美, 上中久美子. (2011). 「健康日本 21 地方計画」への支援 エンパワメントで元気な人づくり・まちづくり. 保健師ジャーナル, 67(11), 1010-1016.
- 岩室紳也. (2012). 東日本大震災で求められている地域保健支援活動とは⑥-女川町のこれからの健やかなまちづくりに欠かせないもの-. 月刊地域医学, 26(8), 756-759.
- 角森輝美. (2016). 「久山町研究」と地域住民の健康づくり 55 年にわたる疫学調査から保健活動, そしてまちづくりへ. 保健師ジャーナル, 72(4), 303-308.
- 岸恵美子. (2013). 虐待対応に必要な保健師の地域づくり. 保健師ジャーナル, 69(3), 180-185.
- 北出純子. (2020). ポピュレーションアプローチの誤解を解く. 保健師ジャーナル, 76(1), 12-17.

- 北村育子, 永田千鶴, 松本佳代, 森塚恵美, 清永麻子. (2014). 認知症高齢者の在宅生活継続を可能にする地域包括支援センターを中心とする専門職連携の有効性に関する一考察. 日本福祉大学社会福祉論集, (130), 191-208.
- 久住時男. (2020). 地域環境へのアプローチで安心して豊かな生活を送れる「健幸」のまちへ 見附市の取り組み. 保健師ジャーナル, 76(1), 37-43.
- 合田加代子. (2014). 住民主体の孤立予防型コミュニティづくりー大学・行政・住民による協働の記録ー. ふくろう出版.
- 河野あゆみ, 丸尾智実, 藤田俱子, 田高悦子, 国井由生子. (2010). 独居男性高齢者のための地域交流促進を目指したグループワークにおけるプロセス. 日本地域看護学会誌, 12(2), 45-50.
- 越田美穂子, 守田孝恵. (2009). コミュニティでのネットワーク形成過程における行政保健師の機能とその意味. リハビリテーション連携科学, 10, 18-26.
- 近藤克則, 相田潤, 荒木典子, 太田崇, 大田康博, 岡田栄作. . . 近藤尚己. (2019). 住民主体の楽しい「通いの場」づくり「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド. (p. 3). 日本看護協会出版会.
- 近藤克則, 吉原（山谷）麻由美 (2012a) . 地域診断の定義と方法の概要. 平成 24 (2012) 年厚生労働省科学研究費補助金「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発（研究代表者 近藤克則）」年次報告書. 221-226.
- 近藤克則, 吉原（山谷）麻由美 (2012b) . 地域診断導入の試みー地域診断に取り組むまで（準備期）に必要な準備ー. 平成 24 (2012) 年厚生労働省科学研究費補助金「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発（研究代表者 近藤克則）」年次報告書. 227-233.
- 近藤尚己, 長谷田真帆, 相田潤, 安保育子, 池田真幸, 市田行信. . . 山谷麻由美. (2019). 地域包括ケアシステムの推進に向けたまちづくり支援ガイド. 日本医療研究開発機構「地域包括ケア推進に向けた地域診断ツールの活用による地域マネジメント支援に関する研究」班.
- 櫻井郁巳. (2011). 保健師の地域保健活動が介護予防に果たす役割 市町を支援する都道府県の立場から. 保健師ジャーナル, 67(8), 694-698.
- 佐藤義一, 藤田麻子. (2020). 「せんぼく元気はつらつ隊」で人から人へ 仙北市の取り組み. 保健師ジャーナル, 74(5), 44-49.

- 行實志都子. (2016). 精神障害者ピアサポートを使った地域づくりの一考察. 神奈川県立保健福祉大学誌, 13(1), 45-52.
- 推橋由加里, 遠藤直子. (2010). 地域づくりの方法論 台東区の保健師活動の枠組み作成, 地域づくりの実践, 評価 地域づくりの評価と今後の展開 自分たちの専門性を確認するための大事なプロセス. 保健師ジャーナル, 66(3), 227-235.
- 杉浦圭輔. (2014). 住民が主役の地域づくりと保健師の関わり 「赤平市健康暮らしを考える茶話会」の活動. 保健師ジャーナル, 70(5), 400-404.
- 角園真枝, 山田圭子, 本田記子, 丹羽野晶美, 石田ちひろ, 小松美由希. . . 大和田江美. (2014). 「地域座談会」を通じた地域づくり その活動が保健師に与えた影響. 保健師ジャーナル, 70(6), 490-497.
- 高田智恵子, 安留篤子, 細川佐理, 高林実結樹. (2008). 地域で見守り助け合うコミュニティづくり 宇治市の認知症予防事業. 保健師ジャーナル, 64(9), 790-795.
- 竹島正. (2010a). 精神保健と地域づくりのつながり 自殺予防を糸口に. 公衆衛生, 74(11), 950-954.
- 竹島正, 的場由木. (2010b). 公衆衛生の精神保健活動の課題-地域づくりに向けて. 公衆衛生, 74(12), 1034-1037.
- 武田丈. (2015a). コミュニティを基盤とした参加型リサーチ (CBPR) の展望: コミュニティと協働する研究方法論. 人間福祉学研究, 8, 9-25.
- 塚尾晶子. (2020). 健康づくり無関心層へ手が届く住民活動を推進するために. 保健師ジャーナル, 76(1), 18-24.
- 鳥居貴子. (2013). 市町村保健師によるまちづくりの実践から 南足柄市の認知症地域支援事業と成果. 保健師ジャーナル, 69(11), 886-891.
- 直嶋京子. (2010). 合併を契機に始まった八峰町の自殺予防対策 そして地域づくりへ. 保健師ジャーナル, 66(6), 510-517.
- 中尾理恵子, 井口茂, 田中浩二, 川崎涼子, 中根秀之. (2016). 福島県川内村における「健康サポーター」育成が帰村後の地域活動に与えた影響. 保健学研究, 28, 21-28.
- 中島貞枝. (2008). 認知症になっても自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指して 保健師中心の活動から市全体での活動へ. 保健師ジャーナル, 64(9), 796-801.
- 中西一宏, 井賀尚哉. (2018). 和歌山県における「寄りあいワークショップ」による地域づくりの取り組み 農業・農村むら機能活性化支援事業. 保健師ジャーナ

- ル, 74(5), 392-398.
- 中西智子, 尾田美佐子, 福井亜希子. (2010). 阿波踊り体操で温かい長寿社会を！阿南市保健センターの介護予防事業 一般高齢者施策と保健師の役割. 保健師ジャーナル, 66(6), 542-547.
- 長屋容美. (2018). 【函南町の取り組み】「寄り合いワークショップ」を活用したまちづくりにおける保健師の関わりと思い. 保健師ジャーナル, 74(5), 386-391.
- 中山貴美子. (2007). 保健専門職による住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程の質的評価指標の開発. 日本地域看護学会誌, 10(1), 49-58.
- 中山貴美子. (2008). 住民組織活動が地域づくりに発展するための保健師の支援内容の特徴. 日本地域看護学会誌, 11(2), 7-14.
- 西尾大祐, 岡持利亘, 高橋一史, 石森隆, 平野恵健, 皆川知也. . . 細井俊希. (2017). 飯能市の「地域づくりによる介護予防推進支援事業」における当院理学療法士の活動. 理学療法－臨床・研究・教育, 24, 110-115.
- 西岡律. (2010). 広域連合における地域づくり 1つの町でできなかったことが5つの町が集まってできた. 保健師ジャーナル, 66(6), 526-530.
- 福本久美子, 今泉直子, 石田妃加里, 門川次子, 飯法師直美, 坂口里美, 星旦二. (2013). 健康な地域づくりにおけるコミュニティ・エンパワメントと保健師の役割～旧蘇陽町における健康むら長体験者の追跡から～. 九州看護福祉大学紀要, 14(1), 27-37.
- 福本久美子, 田中英恵, 佐藤林正, 中川武子, 川俣幹雄, 浅海靖恵. . . 玉名市. (2016). 高齢者の元気づくりネットワークの構築過程とその効果. 九州看護福祉大学紀要, 16(1), 51-61.
- 藤井琴乃, 中根みはる, 羽佐田美和子, 遠山知里, 大野梢, 山崎嘉久, 山中實紀. (2012). 碧南市生活習慣病若年化対策事業の新たな取り組み 学校保健と地域保健の協働をめざして. 保健師ジャーナル, 68(4), 318-322.
- 古田加代子. (2018). 保健師が関わる健康づくりを通したコミュニティ再生. 保健師ジャーナル, 74(5), 360-364.
- 星旦二, 福本久美子. (2013). 蘇陽風とくらしと健康－わたしたちのヘルスプロモーション実践報告. 熊本日日新聞社.
- 眞崎直子, 松原みゆき, 林真二, 福泉麻衣子, 森本千代子, 森マツエ. (2016). 都市型準限界集落の地域づくりを目指した取り組み：阿品台いきいきプロジェクトの経緯と今

- 後の課題. 日本公衆衛生雑誌, 63(12), 750-757.
- 宮前美紀, 二禮木祐子. (2018). 住民主体の介護予防推進事業 日置市「筋ちゃん広場」の成果. 保健師ジャーナル, 74(5), 400-404.
- 三輪眞知子. (2018). 【函南町の取り組み】「子どもを産み育てやすいまち」を目指したコミュニティ再生. 保健師ジャーナル, 74(5), 373-380.
- 山浦晴男. (2018). 「寄り合いワークショップ：の理論と方法. 保健師ジャーナル, 74(5), 365-372.
- 山下かのう. (2008). 障害者自立支援法のもとで精神障害者を支えるシステムをつくる 市町村保健師としての役割. 保健師ジャーナル, 64(7), 622-628.
- 山下清香, 尾形由起子, 小野順子, 手島聖子, 檜橋明子, 迫山博美. (2016). 地域の介護予防活動の推進における保健師の役割について－高齢者サロンの世話役及び指導員の認識から－. 福岡県立大学看護学研究紀要, 13, 13-49.
- 山下理恵子, 中村登志子, 洲崎好香, 松永里香, 市場正良, 有吉浩美. (2012). 急激な高齢化が進む K 町における高齢者ふれあいサロン事業の評価. 日本健康医学会雑誌, 21(2), 69-77.
- 山田圭子. (2010). 地域づくりの方法論 台東区の保健師活動の枠組み作成, 地域づくりの実践, 評価 取組の背景と「保健師活動の枠組み」の作成. 保健師ジャーナル, 66(3), 217-221.
- 山本ゆか. (2011). 「いきいき百歳体操」の地域展開における保健師の役割. 保健師ジャーナル, 67(8), 689-693.
- 山谷麻由美, 中尾八重子. (2016a). 健康づくり推進員の主体性獲得に必要な要件の構造－A 町のエンパワメント発展段階の準備期において－. 日本地域看護学会誌, 19(2), 58-65.
- 米津由美. (2010). 地域づくりの方法論 台東区の保健師活動の枠組み作成, 地域づくりの実践, 評価事業のプロセスと協働の過程「いきいき若返りまつり」の実践から. 保健師ジャーナル, 66(3), 222-226.
- 両羽美穂子. (2010). 地域づくりにおける保健師のマネジメント能力の開発・発展過程～研究者と実践者の協働的アプローチより～. 千葉看護学会会誌, 16(1), 45-52.
- 若子寛子. (2020). 地域の「やりたい」の声から始める地域づくり 第2 育秀苑地域包括支援センターの取り組み. 保健師ジャーナル, 76(1), 52-58.

【引用文献】

- Arksey Hilary, O' Malley Lisa. (2005). Scoping Studies Towards a Methodological Framework. *International Journal of Social Research Methodology*, 8(1), 19-23.
- Barbara A. Israel, Eugenia Eng, Amy J. Schulz, and Edith A. Parker. (2012). *Methods For Community-Based Participatory Research For Health* (2nd ed). San Francisco : Jossey-bass.
- CBPR 研究会. (2010). 麻原きよみ, 酒井昌子, 留目宏美, 宮崎紀枝, 小林真朝, 安齋ひとみ. . . 龍里奈. 地域保健に活かす CBPR コミュニティ参加型の活動・実践・パートナーシップ. 理論編 CBPR について知ろう. 医歯薬出版.
- David L. Streiner, Geoffrey R. Noran, John Cairney, (2015/2016). 木原雅子, 加治正行, 木原正博 (訳), *Health Measurement Scales A practical guide to their development and use Fifth edition* (pp. 83-84). メディカル・サイエンス・インターナショナル.
- Jeannette O. Andrews, FAAN1, Melissa J. Cox, Susan D. Newman, Otha Meadows. (2011). Development and Evaluation of a Toolkit to Assess Partnership Readiness for Community-Based Participatory Research. *Prog Community Health Partnersh*, 5(2), 183-188.
- Joyce, B. L., Harmon, M. J., Pilling, L. B., Johnson, R. H., Hicks, V. L., and Brown Schott, N. (2005). The Preparation of community/public health nurses: Amplifying the impact. *Public Health Nursing*, 32(6), 595-597. Doi:10.1111/pjn.12236.
- Kim M Unertl, Chris L Schaeffbauer, Terrance R Campbell, Charles Senteio, Katie A Siek, Tiffany C Veinot. (2016). Integrating community-based participatory research and informatics approaches to improve the engagement and health of underserved populations. *Journal of the American Medical Informatics Association*, 23, 60-73. doi:10.1093/jamia/ocv094.
- Koryu Sato, Takaaki Ikeda, Ryota Watanabe, Naoki Kondo, Ichiro Kawachi, Katsunori Kondo. (2019). Intensity of community-based programs by long-term care insurers and the likelihood of frailty: Multilevel analysis of older Japanese adults. *Social Science & Medicine*. 2020;245:112701. doi:10.1016/j.socscimed.2019.112701.

- Lorenda Belone, Julie E. Lucero, Bonnie Duran, Greg Tafoya, Elizabeth A. BakerDom-in Chan, Charlotte Chang, and Nina Wallerstein. (2016). Community-Based Participatory Research Conceptual Model: Community Partner Consultation and Face Validity. *Qualitative Health Research*, 26(1), 117-135.
- Masashige Saito, Jun Aida, Naoki Kondo, Junko Saito, Hirotaka Kato, Yasuhiro Ota, Airi Amemiya, Katsunori Kondo. (2018). Reduced long-term care cost by social participation among older Japanese adults: a prospective follow-up study in JAGES. *BMJ Open*. 2019;9:e024439. doi:10.1136/bmjopen-2018-024439.
- Moher, D, Liberati, A, Tetzlaff, J, Altman, DG. (2009). Preferred reporting items for systematic reviews and metaanalyses: the PRISMA statement. *J Clin Epidemiol*, 62(10), 1006-1012.
- Noel J. Chrisman, Kirsten Senturia, Gray Tang, Bookda Gheisar. (2002) *Qualitative Process Evaluation of Urban Community Work : A Preliminary View*. *Health Education & Behavior*, 29(2), 232-248.
- Nola J. Pender. (1987/1996). 小西恵美子, 太田勝正, 麻原きよみ, 草間朋子(訳), *HEALTH PROMOTION in NURSING PRACTICE Third Edition*, 日本看護協会出版会.
- Paul F. Basch. (1999/2001). 梅内拓生(監). *PHC 開発研究会(訳), Textbook of International Health 2nd edition*(pp. 218-235), バッシュ国際保健学講座, じほう.
- Penelope Hawe, Deirdre Degeling, Jane Hall. (1990). 鳩野洋子, 曾根智史(訳), *EVALUATING HEALTH PROMOTION*, 医学書院.
- Prerna G. Arora, Lauren S. Krumholz, Terry Guerra, Stephen S. Leff. (2015). Measuring Community-Based Participatory Research Partnerships: The Initial Development of an Assessment Instrument. *Progress in Community Health Partnerships: Research, Education, and Action*, 9(4), 549-560. DOI: 10.1353/cpr.2015.0077.
- Quad Council of Public Health Nursing Organization. (2011). *Quad Council competencies for public health nurses. Quad Council Competencies For Public Health Nurses Summer*. <http://www.Resourcecenter.net/images/ACHNE/Files/.pdf>
- Rodgers BL. (2000). Concept analysis. An evolutionary view. In Rodgers BL, Knaflik A(eds.), *Concept Development in Nursing: Foundations, Techniques, and*

- Applications (2nd ed) (pp. 77-102). Philadelphia: WB Sanders Company.
- Taiji Noguchi, Katsunori Kondo, Masashige Saito, Hiroko Nakagawa-Senda, Sadao Suzuki. (2019). Community social capital and the onset of functional disability among older adults in Japan: a multilevel longitudinal study using Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES) data. *BMJ Open*. 2019 ;9:e029279. doi:10.1136/bmjopen-2019-029279.
- Tricco AC, Lillie E, Zarin W, O'Brien KK, Colquhoun H, Levac D...Straus SE. (2018). PRISMA Extension for Scoping Reviews (PRISMA-ScR): Checklist and Explanation. *Ann Intern Med*. <https://www.equator-network.org/reporting-guidelines/prisma-scr/>
- United Nations. (2015). Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development. https://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/RES/70/1&Lang=E
- Wallerstein. N. (1992). Powerlessness, empowerment, and health : Implications for health promotion programs. *American Journal of Health Promotion*, 6(3), 197-205.
- Wallerstein. N., & Bernstein. E. (1988). Empowerment education: Freire's ideas adapted to health education. *Health Education Quarterly*, 15(4), 379-394.
- World Health Organization. (1978). WHO, UNICEF. Report of the international conference on Primary Health Care. Alma-Ata, USSR, Geneva. <https://apps.who.int/iris/handle/10665/39228>
- World Health Organization. (1986). Ottawa charter for health promotion. https://www.euro.who.int/__data/assets/pdf_file/0004/129532/Ottawa_Charter.pdf
- World Health Organization. (2005). The Bangkok Charter for Health Promotion in a Globalized World. https://www.who.int/healthpromotion/conferences/6gchp/hpr_050829_%20BCHP.pdf
- World Health Organization. (2018). Declaration of Astana. <https://www.who.int/docs/default-source/primary-health-declaration/gcphc-declaration.pdf>
- 秋山さちこ, 海老真由美, 村山正子. (2003). 住民自主組織に所属する個人エンパワメント構造. *日本地域看護学科誌*, 7(1), 35-40.

- 麻原きよみ. (2000). エンパワメントと保健活動 エンパワメント概念を用いて保健婦活動を読み解く. 保健婦雑誌, 56(13), 1120-1126.
- 麻原きよみ. (2006). 日本の地域看護実践へ向けた CBPR の適用と課題. 看護研究, 39(2), 19-22.
- 安順姫, 芳賀博, 兪今. (2011). 介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌, 2, 1-13.
- 安梅勅江, 家入香代, 大中敬子, 酒井初恵, 清水洋子, 庄司ときえ. . . 宮崎勝宣. (2005). コミュニティ・エンパワメントの技法 当事者主体の新しいシステムづくり (p. 6). 医歯薬出版.
- 岩永俊博. (2003). 地域づくり型保健活動の考え方と進め方. 医学書院.
- 大木秀一, 彦聖美. (2011). Community-Based Participatory Research (CBPR): その発展および社会疫学との関連. 石川看護雑, 8, 9-20.
- 大橋俊子, 岩本葉子, 亀山敦子, 西芦谷真紀, 早田紀子, 東美希, 木村弘士. (2005). 健康づくり推進員による住民主導を目指した地域保健活動の促進要因に関する研究. Journal of the National Institute of Public Health, 54 (1) , 74-78.
- 大森純子. (2014). 地域全体への公衆衛生看護技術. 佐伯和子, 麻原きよみ, 荒木田美香子, 岡本玲子, 和泉比佐子, 上野昌江. . . 山田和子(編), 公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護技術. (pp. 113-114). 医歯薬出版.
- 小塩真司. (2014). 第 2 版 はじめての共分散構造分析 Amos によるパス解析. 東京図書.
- 小塩真司. (2020). 第 3 版 研究事例で学ぶ SPSS と AMOS による心理・調査データ解析. 東京図書.
- 株式会社 NTT データ形成研究所. (2020). 令和元年度老人保健事業推進費補助金 老人保健健康増進等事業 介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業の実施状況に関する調査研究事業報告書 令和 2 年(2020 年)3 月. https://www.nttdata-strategy.com/services/lifevalue/docs/r02_02jigyohokoku.sho.pdf
- 河原田まり子, 本田光, 田仲里江, 進藤ゆかり. (2017). 地域保健活動の推進に活用できるソーシャル・キャピタル測定尺度の開発. 日本公衆衛生看護学会誌, 6(2), 132-140.
- 北山三津子. (2018). 地区活動論. 宮崎美砂子, 春山早苗, 田村須賀子(編). 最新公衆衛生

看護学 総論(第3版 2019版)(pp. 112-113). 日本看護協会出版会.

共同体. (2019). ウィキペディア. <https://ja.wikipedia.org/wiki/共同体>(検索日 2020年5月20日)

健康日本21 企画検討会・健康日本21 計画策定検討会. (2000). 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) についての報告書. https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/pdf/all.pdf

厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会・次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会. (2012). 健康日本21(第2次)の推進に関する参考資料. https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/dl/kenkounippon21_02.pdf

厚生労働省. (2003). <https://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/07/s0715-2b.html>

厚生労働省. (2011). 「健康日本21」最終評価(平成23年10月 健康日本21 評価作業チーム). <https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001r5gc-att/2r9852000001r5np.pdf>

厚生労働省. (2012). 地域保健対策の推進に関する基本的な指針の一部改正について(平成24年7月31日)(健発0731第8号). https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb8511&dataType=1&pageNo=1

厚生労働省. (2013). 地域における保健師の保健活動に関する指針(平成25年4月19日)(健発0419第1号), ¥. https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb9310&dataType=1&pageNo=1

厚生労働省. (2016). https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakusu_ite/bunya/hukushi_kaigo/_kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/

厚生労働省. (2018). 介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(平成30年度実施分)に関する調査結果(概要). <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000570876.pdf>

厚生労働省. (2019a). 一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会取りまとめ. <http://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000576580.pdf>

厚生労働省. (2019b). 一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会(第5回)議事次第. <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000544168.pdf>

小山歌子, 村山伸子. (2011). 健康推進員のエンパワメント評価尺度の開発と信頼性・妥当性の検討. 日本公衆衛生雑誌, 58(8), 617-627.

- 近藤克則. (2010). 「健康格差社会」を生き抜く. 朝日新聞出版.
- 近藤尚己. (2015). 特集「健康無関心層」に向けた健康づくり 健康無関心層に向けた新しい保健活動 健康格差対策の観点から. 保健師ジャーナル, 71 (9), 740-745.
- 近藤尚己. (2016). 健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点. 医学書院.
- 色田彩恵, 加藤孝明. (2015). まちづくりの主体として住民個人のモチベーションの評価手法の構築と有効性の実証. 生産研究, 7(4), 321-326.
- 下妻晃二郎. (2015). QOL 評価研究の歴史と展望. 行動医学研究, 21(1), 4-7.
- 社会福祉法人全国社会福祉協議会. (1996). 全国ボランティア活動者実態調査概要.
<https://www.mhlw.go.jp/www1/toukei/volun/t1216-1.html>
- 鈴木良美, 大森純子, 酒井昌子, 安齋ひとみ, 小林真朝, 宮崎紀枝. . . 麻原きよみ. (2009). 日本の「地域保健活動におけるパートナーシップ」：概念分析. 日本地域看護学会誌, 12(1), 44-49.
- 聖路加看護大学 21 世紀 COE プログラム運営事務局. (2008). 21 世紀 COE プログラム市民主導型の健康生成をめざす看護形成拠点：研究成果最終報告書.
<http://hdl.handle.net/10285/2446>.
- 総務省. (2019). 地方自治法第二章第十条住民. https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=322AC0000000067#D
- 高橋恵子, 亀井智子, 大森純子, 有森直子, 麻原きよみ, 菱沼典子. . . 朝澤恭子. (2018). 市民と保健医療従事者とのパートナーシップに基づく「People-Centered Care」の概念の再構築. 聖路加国際大学紀要, 4, 9-17.
- 高橋恵子, 朝澤恭子, 有森直子, 亀井智子, 麻原きよみ, 大森順子. . . 田代順子. (2020). People-Centered Care パートナーシップ (PCCP) -16 尺度の開発—市民と保健医療専門職の協同に着目した信頼性と妥当性の検討—. 日本看護科学学会誌, 40, 620-628.
- 武田丈. (2015b). 参加型アクションリサーチ (CBPR) の理論と実践—社会変革のための研究方法論 (pp. i -34). 世界思想社.
- 中垣内直樹, 野中愛弥, 引地優人, 浦谷創, 阿南祐也, 三本木温. . . 吉田ことえ. (2018). 離島地域における高齢者サロンでの主たる活動内容の違いによる参加動機, 主観的健康効果への影響. 保健師ジャーナル, 74 (5), 412-418.
- 中村裕美子. (2011). 地域組織活動の展開. 標準保健師講座 2 地域看護技術 (第 2 版)

- (pp. 176-227). 医学書院.
- 中村裕美子. (2016). 地域ケアシステムの構築とネットワーク化. 標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 (第 3 版) (p. 238). 医学書院.
- 長崎県松浦市. (2019). 第 8 回健康寿命をのばそう！アワード (介護予防/高齢者生活支援分野) 調査票.
- 中山和弘. (2018). 看護学のための多変量解析入門 (第 1 版). 医学書院.
- 中山貴美子, 岡本玲子, 塩見美抄. (2005). 住民から見たコミュニティ・エンパワメントの構成概念：住民による評価のための「望ましい状態」の項目収集. 神戸大学医学部保健学科紀要, 21, 97-108.
- 中山貴美子, 岡本玲子, 塩見美抄. (2006). コミュニティ・エンパワメントの構成概念－保健専門職による評価のための「望ましい状態」の項目収集. 日本地域看護学会誌, 8(2). 36-42.
- 日本学術会議. (2015). 回答 科学研究における健全性の向上について.
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-k150306.pdf>
- 野川道子. (2016). 看護実践に活かす中範囲理論 第 2 版 (pp. 366-382). メヂカルフレンド社.
- 濱田真由美. (2017). Beth L. Rodgers の概念分析について - 哲学的基盤に基づく目的と結果の再考 - . 日本赤十字看護学会誌, 17(1), 45-52.
- 平野かよ子, 池田信子, 守田孝恵, 曾根智史, 若木茂子, 山田和子. . . 坂本寛文. (2004). 地域特性に応じた保健活動－地域診断から活動計画・評価への協働した取り組み－ (p. 104). ライフ・サイエンス・センター.
- 平野かよ子, 久佐賀眞理, 藤井広美, 石川貴美子, 山口佳子, 春山早苗 . . . 尾島俊之. (2015). 保健師活動の評価のための評価指標と評価マニュアル. 平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業) 「保健師による保健活動の評価指標の検証に関する研究」.
- 福原俊一, 鈴鴨よしみ. (2005). 健康関連 QOL 尺度 - SF-8 と SF-36. 医学の歩み, 213, 133-136.
- 福原俊一, 鈴鴨よしみ. (2004/2019). SF-8 日本語版マニュアル (pp. 20-21). iHope International 株式会社.
- 平成 28 年度地域保健総合推進事業「ソーシャルキャピタルを活用した地域保健対策

の推進について」研究班. (2016). 平成 28 年度「地域保健総合推進事業」ソーシャル
 キャピタルを活用した地域保健対策の推進について 報告書 ～事例集及び事例から
 明らかになったソーシャルキャピタルを活用した地域保健対策推進のための施策の
 方向性と実践のヒント～. [https://www.jpha.or.jp/pdf/ menu04_2_h28_05. pdf](https://www.jpha.or.jp/pdf/menu04_2_h28_05.pdf)

星旦二, 大木幸子, 藤原佳典, 田中久子, 栗盛須雅子, 富澤美奈子. . . 丹田智美. (2010).
 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方 (p. 15). 医学書院.

ボランティア. (2021). ウィキペディア. [https://ja.wikipedia.org/wiki/ボランティ
 ア](https://ja.wikipedia.org/wiki/ボランティア) (検索日 2021 年 8 月 17 日)

本田光, 宇座美代子. (2010). コミュニティにおける人々の他者への信頼を測定するた
 めの尺度開発と理論的検証. 日本地域看護学会誌, 13 (1), 37-43.

松尾太加志, 中村知靖. (2002). 誰も教えてくれなかった因子分析 (p. 159). 北大路書房.

村山洋史, 田口敦子, 村嶋幸代. (2006). 健康推進員活動における活動満足感, 活動負担
 感の尺度開発. 日本公衆衛生雑誌, 53 (12), 875-883.

室田信一, 小山幸. (2020). 地域活動を支える住民の価値意識-主体性概念の再検討を通
 して-. 人文学報, 513 (3) (社会福祉学 36), 1-23.

百瀬由美子. (2007). 高齢者のヘルスプロモーションにおけるエンパワーメント尺度の
 開発. 身体教育医学研究, 8, 21-31.

森晃爾, 荒木郁乃, 飯野直子, 石原逸子, 梶木繁之, 曾根智史. . . 鳥羽山睦子. (2010). 保
 健指導サービスの評価と改善 個人のスキルアップから組織の質管理まで (p. X). 医
 学書院.

柳井晴男, 井部俊子, 奥裕実, 成瀬和子, 萩本孝子, 根岸薫. . . 中村幸代. (2012). 看護を
 測る 因子分析による質問紙調査の実際 (p. 25). 朝倉書店.

山谷麻由美. (2013). 地域診断における介護予防 Web システムの活用の有用性と課題
 (pp. 58-64). 平成 25 (2013) 年厚生労働省科学研究費補助金「介護保険の総合的政
 策評価ベンチマーク・システムの開発 (研究代表者 近藤克則)」年次報告書.

山谷麻由美. (2014a). 「第 6 期介護保険事業計画策定に関する提案」作成までの地域診
 断を活動した地域ケア会議の取り組みに関する研究 (pp. 196-202). 2014~2015 年厚
 生労働省科学研究費補助金「データに基づき地域づくりによる介
 護予防対策を推進するための研究 (研究代表者 近藤尚己)」成果報告書.

山谷麻由美. (2014b). 高齢者サロンの立ち上げにおける地域診断の役割と高齢者サロ

- ンの評価-長崎県松浦市の介護予防サポーターによる「お寄りませ」の活動より-(pp. 203-210). 2014~2015 年厚生労働科学研究委託費長寿科学研究開発事業「データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究(研究代表者 近藤尚己)」成果報告書.
- 山谷麻由美. (2019). 地域保健活動における「地域づくり」-概念分析-. 日本地域看護学会誌, 22(2), 69-78.
- 山谷麻由美, 荒木典子, 近藤克則. (2014). 地域診断を起点とした地域住民や関係機関との協働のまちづくり-介護予防 Web アトラスを活用した松浦市の試み. 保健師ジャーナル, 70(9), 812-816.
- 山谷麻由美, 近藤克則, 近藤尚己, 荒木典子, 藤原晴美. (2016b). 長崎県松浦市における地域診断支援ツールを活用した高齢者サロンの展開: JAGES プロジェクト. 日本公衆衛生雑誌, 63(9), 578-585.
- 湯浅 資之. (2018). プライマリヘルスケアの背後にヘルスプロモーションがある. 国際保健医療, 33(2), 105-109.
- 湯浅 資之, 吉田 友哉, 菅波 茂, 中原 俊隆. (2002). プライマリ・ヘルス・ケアとヘルス・プロモーションの 共通点・相違点の考察-第 2 稿 人口・疾病・社会政治構造の視点から見た相違点. 日本公衆衛生雑誌, 49(8), 720-728.
- 横林賢一. (2017). 地域保健×医療で進める健康格差対策-CBPR の活用-. 治療, 99(1), 34-37.